

令和 8 年度 研究推進委員会活動計画

I 研究の推進

1 研究の推進と活動方針

令和 8 年度より、全日中の研究協議テーマが「『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創る担い手』を育てる中学校教育」となる。これを研究主題として、3 つの分科会を設け、研究を推進していく。

3 つの分科会からの提案を受けて重点的に協議する。緊急の教育課題がある場合には特別分科会の設置を検討する。

各分科会では次の視点を定め、研究の在り方を明確にして、実践化を図る。

- 1 校長という視点で研究に取り組み、学校経営上の課題の解決を図る。
- 2 各地区や各学校の課題解決に向けて、全会員が一体となって取り組み、研究を深める。
- 3 各地区の特色や特性を生かした実践的で実地的な研究に努める。
- 4 各地区・県中学校の課題解決へ向けた研究と実践が、東北地区・全国中学校長会の研究にも資するという視点で研究を深める。

2 活動の方針

(1) 研究の取り組みについて

- ① 校長会 11 地区全てに研究組織をつくり、「学校経営」「生徒指導」「学習指導」3 つの研究分野に関わる主題を設定して研究に取り組む。
- ② 上記①の研究分野について、研究担当地区を指定し、県中学校長会研究協議会（東北大会を兼ねる）での発表及び東北中、全日中の各大会での研究発表にも対応できるようにする。
- ③ 研究担当地区は、会誌第 56 号の「研究・実践のあゆみ」を基に発表資料や補助資料を 5 月中旬まで作成する。その資料をもとにして協議会の分科会で話し合い、情報を共有する。

(2) 研究推進委員会の構成と役割について

- ① 研究推進委員会は、各地区研究推進委員長等で構成する。
- ② 研究推進委員会は、研究計画の策定や各地区校長会の研究組織との連絡調整にあたる。
- ③ 研究推進委員会は、県中学校長会の研究調査活動推進、県中研究協議会の運営等にあたる。
- ④ 理事会の決定に従って、必要に応じて特別分科会を設定し運営にあたる。

(3) 研究成果の記録について

- ① 研究協議会の記録は、「分科会」の記録として収録する。
- ② 県中学校長会誌に「研究の歩み」を収録し、研究の成果と課題を校長会全体のものにしていく。

(4) 研究担当地区

- ① 研究部会は「学校経営」「生徒指導」「学習指導」の 3 部会を 5 ブロックに順次割り当てる。
- ② 研究担当地区は、ブロック内で地区を選定し、研究する。
- ③ 研究担当地区の役割
 - ア. 県中学校長会研究協議会での発表を担当する。
 - イ. 必要に応じて東北中、全日中研究協議会で発表を担当する。
- ④ 研究担当地区の組織等
 - ア. 研究委員長、副委員長、その他必要に応じて係をおく。
 - イ. 組織編制等は地区理事が調整する。
 - ウ. 研究担当地区には研究に要する経費の一部を支給する。

3 研究推進委員会の役割等及び研究推進調整事項の確認

(1) 役割

- ① 研究計画（研究割り当て、全体の研究主題、地区の研究テーマ等）
- ② 研究地区との情報交換や連絡調整
- ③ 県中学校長会研究協議会の運営（令和7年はなし）

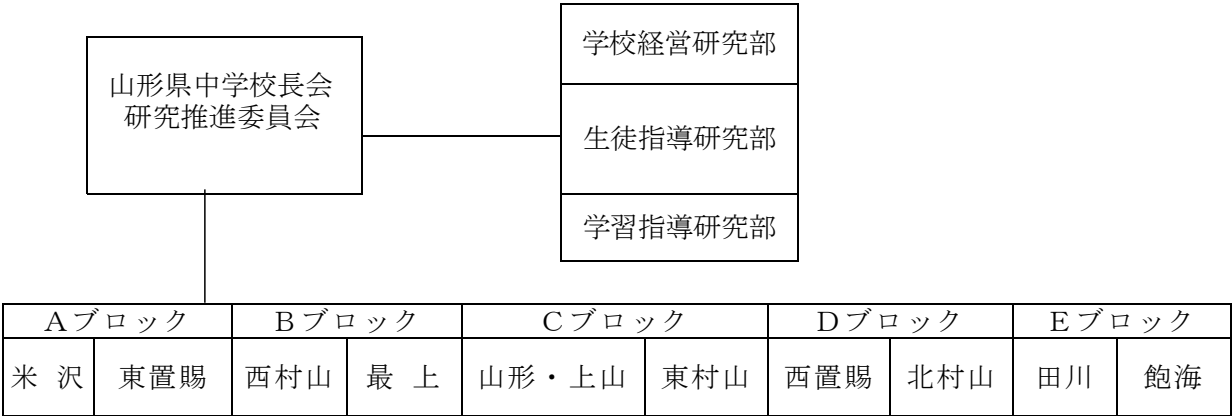
(2) 委員会の構成

- ① 委員会は、県中副会長から1名、11の各地区から各1名の委員（計11名）、研究担当地区委員長各1名（計4名）、県担当幹事（山形）で構成する。
但し、研究担当地区委員長は、11地区選出の委員と兼ねることができる。

(3) 委員会の役職

- ① 研究推進委員長1名（県中副会長1名があたる。）
- ② 研究推進副委員長1名（協議会会場となる「山形」があたる。）
- ③ 担当幹事

(4) 組織図



(5) 研究担当地区割り当て

会誌への掲載年度	研究担当地区		研究協議会での発表年度
令和7年度から 2年間	学校経営	Cブロック（東村山 地区担当）	令和8，9年度
	生徒指導	Dブロック（北村山 地区担当）	
	学習指導	Eブロック（飽海 地区担当）	
会誌への掲載年度	研究担当地区		研究協議会での発表年度
令和9年度	学校経営	Aブロック（東置賜 地区担当）	令和10年度
	生徒指導	Bブロック（最上 地区担当）	
	学習指導	Cブロック（山形・上山 地区担当）	

【平成29年度以降の割り当て】

- ①平成28年度から平成30年度までの研究担当地区について、平成28年度第2回理事会において決定している。
- ②令和元年度以降については、平成29年度第4回理事会において別掲のように決定している。
- ③学校の統廃合、行政区分の変更等、今後様々な状況が予想されることから、近い年度になった時点で詳細を検討する。
- ④検討する項目として、地区を構成する学校の数が極端に少なくなった場合、ブロック内での研究地区の統廃合についても検討する。→令和7年度に原案提示。令和8年度に検討・決定する。

⑤今後の地区研究担当と東北・全国大会の発表担当

全日中大会				東北中大会			県中大会		
令和	開催地	東北地区の 発表分担	山形の 発表地区	開催地	分科会	山形の 発表分担	発表 年度	分科会・担当地区	
2	和歌山	秋田・青森		青森	進路指導	東村山	2	学校経営	Aブロック（米沢地区）
3	静岡	福島・宮城		岩手	進路指導	東村山	3	生徒指導	Bブロック（西村山地区）
4	北海道	岩手・山形	東置賜	宮城	進路指導	東置賜	4	学習指導	Cブロック（東村山地区）
5	大分	秋田・青森		福島	学力	西置賜	5	学校経営	Dブロック（北村山地区）
6	岩手	福島・宮城		岩手	学力	（西置賜） 発表なし	6	生徒指導	Eブロック（飽海地区）
7	香川	岩手・山形	西村山	山形	学力	西村山	7	学習指導	Aブロック（東置賜地区）
8	長野	秋田・青森		秋田	現職教 育	飽海	8 9	学校経営	Bブロック（最上地区）
								生徒指導	Cブロック（山形上山）
								学習指導	Dブロック（西置賜地区）
								学校経営	Eブロック（田川地区）
								生徒指導	Aブロック（米沢地区）
								学習指導	Bブロック（西村山地区）
								学校経営	Cブロック（東村山地区）
								生徒指導	Dブロック（北村山地区）
								学習指導	Eブロック（飽海地区）

*記載の年度は「発表年度」です。研究年度（研究委嘱期間）は定めませんので、地区の実情にあわせて研究を開始していただく。

（6） 研究協議会について

①令和元年以降は、研究推進委員会と担当地区が主となって運営する。（会場・受付接待は山形・上山で担当していただく）ただし、「会誌」編集は県中担当幹事が担当する。記念大会や東北大会等で別途記録集作成が必要なときはその都度担当地区を定める。

②5年に1回をめぐり、講演会の開催を検討する。但し、その折は講演内容の文字起こしはしない。

③写真掲載ローテーション

・東置賜⇒西置賜⇒最上⇒田川⇒飽海⇒山形 or 上山⇒東村山⇒西村山⇒北村山⇒米沢

R3 R4 R5 R6 R7 **R8** R9 R10 R11 R12

	会議・活動	内 容 等
4 月 日 ()	第 1 回県中理事会	・研究の推進、組織づくり、事業計画等（原案提出） ・研究協議会について ・大会組織図、主な役割の確認
4 月 3 0 日 (木)	第 1 回研究推進委員会	・研究の推進、組織づくり、研究の進め方 ・調査・研究について 設問の検討 ・研究協議会について ・全国中学校便覧掲載校の依頼 ・令和 1 1 年度以降の割当の検討について
6 月～1 0 月	調査研究	令和 8 年度教育課程編成に関する調査 →校長会誌 5 7 号への調査研究結果の集約
6 月 4 日 (木)	研究協議会	会場： 山形市ヒルズサンピア ・分科会運営委員会の開催・運営 ・会場づくり、全体会運営、分科会運営
6 月 4 日 (木)	第 2 回理事会	必要な場合
1 0 月 2 7 日 (火)	第 2 回研究推進委員会	・令和 8 年度のまとめと次年度の課題について ・調査内容の検討など、 ・令和 1 1 年度以降の割当の決定
1 1 月 2 0 日 (金)	第 3 回県中理事会 (兼 大会実行委員会)	・調査内容の報告 次年度の方針・課題 ・研究協議会の方向性について
1 2 月	校長会誌原稿作成→県中校長 会編集委員会へ	研究の成果をまとめ、「校長会誌」に掲載 ・第 1 部 研究協議会のまとめ（分科会担当地区） ・第 2 部 あゆみ研究担当 3 地区研究推進委員 ・巻 末 調査研究のまとめ
2 月 1 6 日 (火)	第 4 回県中理事会	・研究協議会のご案内（第一次）案の提案